



# My Rotaryの登録について 地区ICT委員長 堀元雅司氏

## 「年頭挨拶」 犬嶋清幸 会長

年頭のご挨拶を申し上げます。あらためまして、新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年11月19日以降、2か月ぶりの例会再開となりました。全国各地で緊急事態宣言が発令され、北海道もコロナ感染拡大を防ぐため、2月15日まで集中対策期間が延長されている中、苦渋の決断での例会再開に多くの会員の皆様にご参加をいただき、感謝申し上げます。本来であれば、ほとんどのロータリー活動が上期で終了し、年が明けて少しはゆっくりできるのが例年ですが、今年度はいまだ全く先が見えない状況です。運営もままならず奉仕活動のほとんどが中止となる中、残暑家族会とウポポイ見学が開催できたことは伏木・小山両委員長をはじめとする担当委員会のご尽力と会員の皆様のご理解ご協力の賜物と感謝申し上げます。会長就任のご挨拶で申し上げた①さらなる会員を増やそう、②充実したFSMを増やそう、③奉仕活動・各行事への参加会員を増やそうという「3つの増」は全滅ですが、大岡会員増強委員長の絶大な活躍で8名の新会員をお迎えすることができました。

残すところ5か月余りですが、やるべきこと、やらなければならないことをしっかり判断し、次の希望ある高橋年度に引き継いで参ります。今後のクラブ運営・事業に改めて会員の皆様のご理解ご協力をお願いするとともに、お一人お一人のご健康と事業の繁栄を祈念いたします。



## 「年男の弁」 大岡賢司 会員

今から37年前の昭和59年、私は北洋銀行月寒支店に入行いたしました。当時の支店長は54歳。私の上司は58歳で、実年齢より更に老けた印象であったことを記憶しています。

現在の私は、当時の先輩銀行員より年上になりました。気力体力ともにさほど衰えてはいないと自覚しています。当クラブには、吉山八郎会員を始め、尊敬する多くの会員がおられます。私の入行当時の上司は、定年が大きなゴールであったかもしれませんが、ここにおいてになる先輩諸氏にとっては、60歳は単なる通過点で、もっと先に大きな目標を掲げておられ、その思いと精神力が皆様の活力になっていると確信しております。なるほど、皆様お元気で魅力的にロータリーライフを満喫されていることと納得しております。私も見習い、年齢の壁を作らず、生活して参ります。

本年度、会員増強委員長を仰せつかっております。皆様ご承知の通り、コロナ禍の影響が大きく、残念ながら昨年6月より12名が退会されています。他方、おかげさまで8名の新入会員に入会して頂きましたが、当初目標には遠く及ばない状況で、大変苦戦しております。5年後、10年後の当クラブのためにあと約6ヶ月間努力を継続いたします。会員の皆様からのご推薦を心待ちにしております。

## 「年男の弁」 渡部裕史 会員

私は昭和48年生まれで、今年の誕生日で48歳になります。今までの人生においてやりもせず最初からシャットアウトしてきたこと、例えば、スノーボード、スキューバダイビング、ゴルフなどたくさんありました。早速、今週末に人生初のスノーボードに行ってきます。ゴルフについては昨年から本格的に始めました。ゴルフができることによって、旅行が数倍楽しくなるということを24年かかってようやく知ることができました。今年は何としても島松会で100を切って、和田さんに勝つということを目標に頑張りたいと思います。そして、次回の年男の時には多趣味な人間になっていることをお約束します。最後になりますが、ロータリーについて、少しでも多くのことに関わり、参加していきたいと思っております。